

正六位・旭日双光章を授与

旧長島町議会議長 (故) 登尾徳義氏をたたえる

4月20日、(故) 登尾徳義さん(浜瀬)に、長年にわたる地方自治の振興発展に貢献された功績をたたえ、叙位・正六位と旭日双光章が贈られ、川添健町長から息子さんの公德さんに伝達されました。

同氏は、昭和38年4月から平成11年4月まで長島町議会議員として、8期32年の永きにわたり議会議員として在職されました。

この間、長島町議会議長、同議会副議長、同議会建設経済常任委員会委員長、同議会教育民生常任委員会委員長などの要職を歴任され、円滑な議会運営に努力するとともに、常に高邁な政治信念のもとに活動を続けられました。また、長島町農業委員会委員として遊休農地の賃貸借を

積極的に進めるなど農地の集積と有効利用を図り、農家の経営規模拡大と経営安定に力を注がれました。

平成3年5月から平成5年5月までは、鹿児島県町村議会議長会の副会長を努め、関係団体との連携を図り、県内町村の地域振興や活性化などに貢献されました。



→息子さんの公德さんに川添健町長から伝達

LPガスなど応急物資を供給

災害時における応急生活物資の供給に関する協定調印式が4月20日、長島町役場で行われました。

これは、本町と鹿児島県LPガス協会北薩支部(高橋義英支部長)の間で協定されたもので、災害が発生した際、または発生のおそれがある際、調達可能なLPガスなどの応急物資が供給されるものです。

この日は、同協会の長島地区ブロック会員も同席し、来庁した阿多優二副支部長が「今回の協定に快くお受けしていただきうれしい。同協会では災害時のインフラが寸断した際など、住民のため迅速に対応したい」と協定の趣旨など交えあいさつしました。川添健町長は「本町では安心安全な町として施策を進めているが持ち運びができるLPガスの特性を生かした協定内容であり心強い。災害があった際など住民にきめ細やかな対応ができ、今回の行為に感謝したい」とお礼を述べました。

なお、同支部管内(伊佐市、出水市、阿久根市、長島町)で協定がなされているのは出水市と長島町の2市町となっています。



↑調印後、鹿児島県LPガス協会の阿多優二北薩副支部長と握手を交わす川添健町長

←長島町と鹿児島県LPガス協会北薩支部との協定書に調印